

# 点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

57

「鉄は熱いうちに打て」。自分が子どもの頃に親に良く言われたことだ。文字通り、鉄は熱くないと加工できないという意味だが、派生して「物事は時機を逸せず、みんなの熱意があるうちに行え」

「人は精神が柔軟な若いうちに、頭も身体も鍛えるべきだ」という意味もあるらしい。

この格言を思い出したのは、製鉄業を営む企業を訪ねたからだ。創業80年。鉄は重いので、製鉄工場は海に近いところが多いらしく、内陸の群馬で製鉄業を営むのは珍しいと

## 鉄は熱いうちに打て

のこと。それゆえに、基本的にはオータメードの高付加価値品を製造している。製鉄工場を見学した

の塊を成型していくの。小学校以来だ。小学生の頃に北九州に住んでいて、その大きな製鉄工場を見学したのを覚えている。

久しぶりの製鉄工場見学。何と言っても見入ったのは7千トのプレス鍛造機。千度以上に熱した、赤く光る鉄の塊」をプレス機でたたいて形を整えていく

## 硬さと粘り 両方必要

驚いたのは、モニターをチェックしながらではあるが、1人のオペレーターが巨大な鉄の塊を成型していくの。最初は鉄の塊の取っ手を作り、スピーディーに、しかも確実に成型していく。そして、また火入れをして、た

「鉄には「硬さ」と「粘り」の両方が必要だと聞いた。「鉄のカーテン」「鉄の女」という言葉があるように、鉄は硬いとばかり思っていたが、「粘り」も必要というのは驚き。これまた、人間と一緒だ。

この企業は航空機需要の拡大をにらんで、航空機のジェットエンジンのシャフトにも参入している。かなり高い品質を求められるため、エンジンのメ

この企業は航空機需要の拡大をにらんで、航空機のジェットエンジンのシャフトにも参入している。かなり高い品質を求められるため、エンジンのメ

この企業は航空機需要の拡大をにらんで、航空機のジェットエンジンのシャフトにも参入している。かなり高い品質を求められるため、エンジンのメ



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大学法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。